

仙人通信 163 二子山(882.7m)

二子山は、秩父横瀬町の南に武甲山と並んで鎮座し、雌岳と雄岳が猫の耳状に尖って並んだ形の山である。西武秩父線の芦ヶ久保駅前にある道の駅に車を置いて、沢沿いの路を登り尾根筋をキャンプ場に向かい下山するコースとした。

道の駅の裏手にある道標に従い進み、線路下に設けられた2m角のコンクリート製の穴がこのコースのスタート点である。穴を抜け線路脇の土手に設けられた道をホーム方向に100m程進むと右に折れ登山路らしくなる。杉・檜に混じり桜や檜等の明るい道で、足元には赤と白のミズヒキの花が元気だ。駅から8分程で最初の尾根を越え、ほぼ平らの路を5分程進むと兵ノ沢(この沢に沿って登る)に架かる丸太橋に出る。橋の隅に3輪程黄色の花を付けたアキギリや青紫のアキチョウジが迎えてくれ、感激だ。杉・檜の沢沿いの路を左手に瀬音を聞きながら20分程登ると、ザゼンソウの写真を添えた横瀬町製の1m角の表示板が設置され、ハイキングの注意事項が書かれている。春にはこの辺でザゼンソウにも合えそうだ。ここからは、沢を右手に見ての登りで、赤茶のチャート質の沢石を踏みながら15分程登ると、尾根に向かう路となる。登り初めて丁度1時間で先ほどの尾根の肩となり、立派な道標が山頂を示す。唐松や桜・水檜等のコースとなり、白い小さなヤマジノギクが一面に咲き、明るいコースで気分も爽快だ。15分で別の尾根と合流し、杉林の中を雌岳へと進む。足元には、春咲くフタリシズカの葉が沢山見られる。小さなピークを2つ越すと眼前に雌岳だ。滑り易い赤土状の山肌で最後の15分は、ロープを頼りの登りとなる。2時間25分で雌岳に到着だが、木立に囲まれた薄暗い山頂である。更に岩尾根を15分程辿り三等三角点の置かれた雄岳山頂である。こちら眺望は無く、30m程西側に下がった地点の切開かれた所が唯一のポイントだ。目の前には岩肌の武甲山が左手には熊倉山だ。又右手には、四阿屋山・両神山・荒船山・赤久縄山・御荷鉾山・遠くに榛名山、そして手前には城峰山も望めた。1山1山の思い出に耽る一時だ。休憩後、雌岳に戻り今度は、杉・檜林の尾根を直線状に下山である。山頂から10分程で、自然が作り出した大きな岩の暗い洞窟である。更に20分程で尾根の分岐を左側へと進む。小さなピークを越え10分程で富士浅間神社に着く。大きな杉の幹越しに、左側から両神山や宝登山・登谷山が、下には叢山に架かる大きな橋・秩父の町だ。コンパスを地図に当て該いしばしの堪能だ。30分程下ると鉄道のレールが見え、先程の兵ノ沢とキャンプ場だ。降立つと浅間神社の素朴な鳥居である(無事下山出来た事に一礼・・)。こちらコンクリートで出来た線路下の穴を潜り、国道299号を経て、3時間55分(15000歩)のノンビリハイクとなりました。(h29.10.5)

せせらぎのコース



3等三角点のある雄岳山頂



武甲山

